

テーマ2: 自動車ユーザー等への自動車リサイクル制度の普及・啓発のための情報発信

課題認識			
現状	課題	今後の対応	備考
<p>JARCは、合同会議の提言及び第1回情報発信の在り方等に関する検討会で示された意見を踏まえ、自動車リサイクル制度の運用の高度化に資する自動車ユーザー(以下「ユーザー」という。)等への普及・啓発のための情報発信及びその効果検証等の活動を発展的に行うことが必要。</p>			
<p>○JARCは関係主体と連携して自動車リサイクル制度の普及・啓発のための情報発信を実施中</p> <p>○目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広くユーザーの自動車リサイクル制度に対する理解度の向上等 <p>○方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシの配布 ・ポスターの掲示 ・テレビCM ・JAFMateへの広告掲載 ・自動車教習所学科教本への広告掲載 ・JARCホームページへの掲出 ・環境イベントへの出展 ・短編映像の制作・配信 ・消費者懇談会の開催 ・Webアンケート調査 等 	<p>(1) 情報発信の内容・方策の改善</p> <p>『『自動車リサイクルの広報のあり方』にかかる消費者懇談会』や、本検討会第1回会合等において、普及・啓発のための情報発信の在り方等について、下記のような課題が示された。</p> <p>(a)自動車リサイクル制度をより分かりやすく解説した情報発信が必要</p> <p>(b)自動車の「購入時」「使用中」「使用済み」など、どの段階のユーザーを対象とした情報なのかをより明確にした情報発信が必要</p> <p>(c)情報発信の対象者(情報の受け手)を広げることが必要</p> <p><(参考)本検討会第1回会合における関係意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル料金が、3品目の再資源化等のための料金であることを、消費者が正しく理解していくためには、さらなる情報提供が必要。 ・自動車ユーザー向けと、一般市民向けに分け、さらに自動車の購入、使用、使用済みの時点毎の時間軸で必要となる情報についても整理が必要である。 ・アピールポイントを分かりやすくし、自り制度のコンセプト等を分かるように工夫が必要である。 	<p>(1) 情報発信の内容・方策の改善の推進</p> <p>左記の課題を踏まえ、JARCが行う普及・啓発のための情報発信の内容・方策を改善していくこととする。主要な改善案は以下のとおり。</p> <p>【改善する情報発信事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル料金の預託から使用済自動車のリサイクル・適正処理までの流れ、使われ方を始めとした自動車リサイクル制度の基本的事項に関する情報発信を強化 ・自動車リサイクル制度の概要について、情報発信の対象者(情報の受け手)を拡大(例:小中高等学校の生徒等) <p>【情報発信の方策の改善】</p> <p>①2015年12月完成の自動車リサイクル制度の基本的な内容を分かりやすく解説した短編映像の積極的活用 (a)(c)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短編映像のJARCホームページ掲載を積極的にユーザー、関係主体等に周知 ・DVD貸出を広く積極的にユーザー、関係主体等に周知 《例1》自動車関係団体や自治体に短編映像及びDVD貸出を周知する。 《例2》小中高等学校教員向け新聞に掲載することにより短編映像及びDVD貸出を周知する。 <p>②自治体主催の環境イベントの積極的活用 (a)(c)</p> <ul style="list-style-type: none"> 《例1》短編映像の放映 《例2》ポスター、パネル等の出展 <p>③ユーザーを区分(時間軸での区分)した情報発信 (a)(b)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユーザーを自動車の「購入時」「使用中」「使用済み」に時間軸で区分し、それぞれの時点で必要な情報を分かりやすい内容・方法で情報発信する。 《例》JARCホームページの改善 <p>④自治体との連携強化によるユーザーへの情報発信 (a)(c)</p> <ul style="list-style-type: none"> 《例》自治体の広報誌への自動車リサイクル制度の基本的事項の掲載 	<p>(注) <第1回ユーザーその他へのヒアリング></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間 : 2015年12月 ・ニーズ把握対象 : ユーザー及び自動車販売時のユーザーとの接点となる関係6団体(NACS、元気ネット、JAF、自販連、全軽自協、中販連) <p>【ヒアリングの実施結果】</p> <p>[知りたい情報に関するニーズ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車リサイクル制度に関する情報 ・3Rに関する情報 ・幅広い層に対しても理解度向上に繋がる情報 [ユーザーを区分した情報発信ニーズ] ・ユーザーを時間軸で区分しての情報 [実施主体・連携に関するニーズ] ・自治体との連携を強化した自動車リサイクル制度の情報 ・整備事業者と連携した廃車・引取時に関する情報 ・自動車メーカー等や自動車販売店と連携した自動車リサイクル制度の情報
	<p>(2) ユーザーが求める情報の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記(1)の改善を効果的に進めていくためには、ユーザーが求める情報や情報発信方法をユーザーから吸い上げる恒常的な仕組みを作ることが必要 	<p>(2) ユーザーが求める情報の定期的な把握(注)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JARC主催によるユーザーへのヒアリングの定期的(年1回)開催により、情報発信に関するニーズを把握 ・第1回ヒアリングの実施結果は備考(注)を参照 	
	<p>(3) 効果検証やJARC施策の情報共有の恒常的な仕組み作り</p> <p>JARCによる普及・啓発のための情報発信活動は、ユーザー及びメーカー等がその財源を負担していることに鑑み、効果検証や活動状況の共有等を恒常的に行っていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JARCの普及・啓発のための情報発信の効果検証が必要 ・JARCの普及・啓発のための情報発信に関する活動状況について関係主体への共有が必要 ・上記内容について関係主体と情報共有を図る恒常的な仕組み作りが必要 	<p>(3) 効果検証及び情報共有のための仕組みの構築</p> <p>①Webアンケート調査による情報発信の効果検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回のユーザーの自動車リサイクル制度の浸透度・理解度調査を継続実施 ・多面的な情報発信の効果検証を行う観点から、新たな目的及び対象ユーザーを定めたアンケート調査も実施 <p>②JARC主催のユーザーとの会議(消費者懇談会等)による効果検証</p> <p>③JARC主催の関係主体との会議の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の在り方等の検討会(第2フェーズ)を活用した情報共有 	